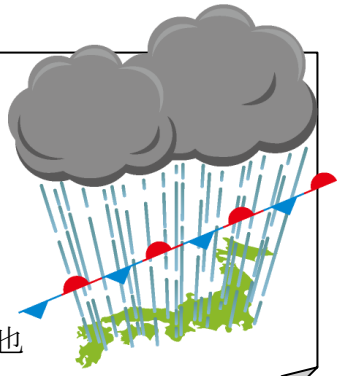
長崎市立大園小学校　校長室だより　Ｎｏ55

6月 今日の一言



７．６．５　校長　渕上　卓也

6月のカタツムリ的過ごし方

６月になりました。いよいよ梅雨時ですね。元気者が多い大園っ子ですから、外で遊べず、残念がる子どもも多いです。休み時間の校長室は大賑わい！！絶好の暇つぶしの場となっております。ただ、雨の日は欠席も増えるんですよね。心身ともに乱れてくるのかもしれません。

さて、学校では、年に３回危機が訪れると言われています。それは６月、１１月、２月です。先生方は危機感をもって指導・支援にあたっていらっしゃいます。６月のことをお話しすると、「雨の日が続き、じめじめした日々で心身の不調をきたす、そして何より、雨のため外で遊べず、子どもたちがストレスをため込む。」のが、この６月なのです。これまでの学校現場における事件や事故を振り返ると、本当に６月から７月初旬に多いのです。

ご自宅ではどうでしょうか。ストレスたまっている様子はありませんか？イライラしていませんか？朝の登校の様子を見ていると、雨の日は若干元気がないかな・・・と感じている渕上です。その分、私の方からできるだけ元気に「おはようございます。行ってらっしゃい。」の声掛けをするようにしています。

梅雨と言えば、「カタツムリ」の出番です。目的地へ向かってゆっくりゆっくり、じっくりじっくり進む姿は、眺めていると なんだかほっこりします。でも、一生懸命なんですよね。「がんばれ！！」と応援したくなります。

６月、雨で思う存分活動できないけれど、心や時間にゆとりができると思えば、また違う感覚になれるのではないでしょうか。「カタツムリ」のように、ゆっくりじっくり、あわてず騒がず目標を目指す！！６月の過ごし方についての渕上からの提案です。ゆっくり本を読む、じっくり話をする、ゆっくりモノづくりをする、じっくり学習に取り組む・・・。以上、「６月のカタツムリ的過ごし方」でした。

＜今日の一句＞

雨の日の
過ごし方師匠
カタツムリ　卓也